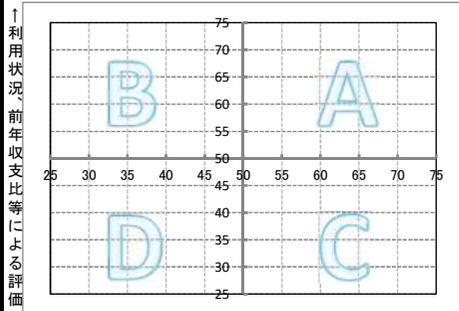
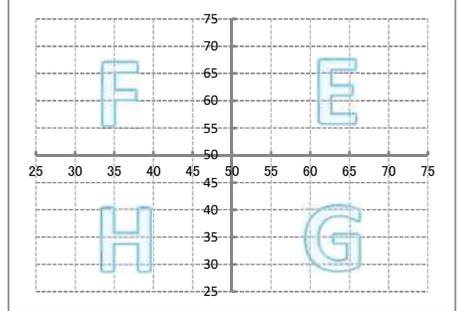


基本情報	リストNo	24-001	施設コード	00445	主管課	土木部河川課		
	施設名	鴨江雨水調整池			所管課	土木部河川課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	安全で安心して暮らせる川づくりの推進						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		大雨時等に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合に稼働させる。日常的には保守点検を行い緊急時に備えている。					
		主な利用者	なし					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大規模化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会的にニーズは高まっている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		台風による大雨や局地的な集中豪雨は増加傾向にあり、さらに重要となると予想される。					
	特記事項		緊急時に備え、施設の維持管理を続ける必要がある。					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況 のべ募集人員 参加者数	
事業①		—			2024	0	0 0	
		—			2023	0	0 0	
		—			2022	—	— —	
事業②		—			2024	0	0 0	
		—			2023	0	0 0	
		—			2022	—	— —	
事業③		—			2024	0	0 0	
		—			2023	0	0 0	
		—			2022	—	— —	
事業④	—			2024	0	0 0		
	—			2023	0	0 0		
	—			2022	—	— —		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	43,493	12,665	59,528	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
 <p>↑利用状況、前年収支比等による評価</p> <p>←前年収支比、施設1人当たりの市食料額等による評価</p> <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>供給状況等による評価→</p>					
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>				<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
施設に関する課題等(ハード面から)							
課題	老朽化が進んでおり、今後も継続した維持管理が必要である。また、施設の長寿命化計画を策定し、維持管理費の平準化を図る必要がある。						
対応策	施設の適正な維持、管理、修繕を実施していく。また、長寿命化計画により各施設の維持修繕、更新を実施していく。						
今後の方針							
見直し方針	方向性	該当	備考欄				
	廃止		—				
	民間移管		—				
	管理主体変更		—				
	非保有		—				
	統廃合		—				
複合化		—					
広域化		—					
民活導入	自家用電気工作物保安管理業務、降雨時運転操作監視業務、及び運転・保守・施設管理業務を業務委託発注している。これら業務委託については今後も継続する。						
個別方針	地域住民の安全を確保する施設として、当面適切な維持管理に努める。						

基本情報	リストNo	24-002	施設コード	00409	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	茄子揚水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		許可水利権に基づき、営農に必要な用水を安定的に供給する。						
		主な業務内容	用水時期(5月から10月)に取水を行うためのポンプを稼働させる。※浜松土地改良区に管理委託					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		水利状況は変わっていない。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		水利状況が大幅に変わることはない。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業④		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
	—			2024	0	0	0	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	0	13,514	22,584	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	施設の老朽化が進み、更新時期がきている。
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理費の平準化を図る。

今後の方針

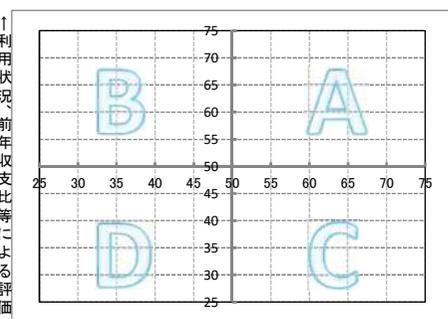
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
	複合化		—
	広域化		—

民活導入 —

個別方針
 農業用水を供給する施設として、適切な維持管理に努める。用水受益地の減少により機能が過剰となった場合、存続について検討する。

基本情報	リストNo	24-003	施設コード	00640	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	欠下排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
事業③		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
	—			2024	0	0	0	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	12,008	6,061	25,701	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

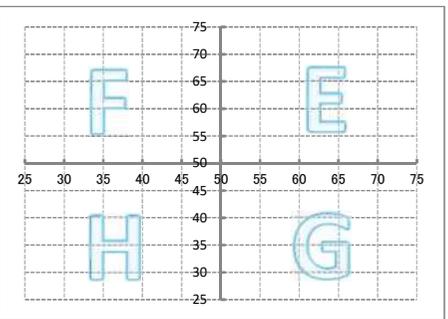
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)



建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)



利用状況等による評価→

【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】
 A: 建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B: 利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C: 建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D: 建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】
 E: 利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F: 財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G: 利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H: 利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		
	民間移管		
	管理主体変更		
	非保有		
	統廃合		
	複合化		
	広域化		

民活導入

現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。

個別方針

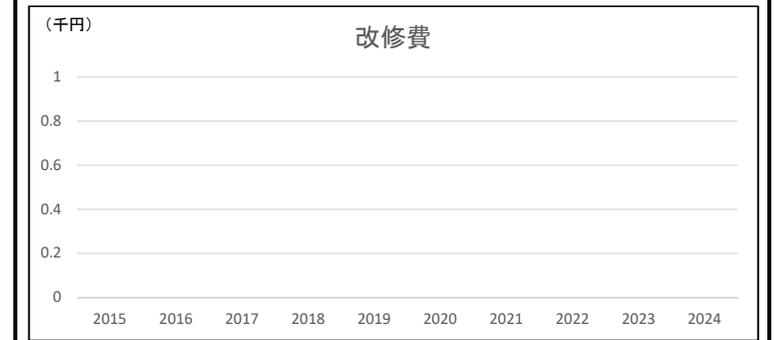
緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。

リストNo	24-004	施設コード	01794	
利用用途別分類(施設分類)	ポンプ・排水機場			
施設名	大菩薩揚水機場			
所在(町名・番地)	中央区有玉西町391			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
主管課	産業部農地整備課			
所管課	産業部農地整備課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	許可水利権に基づき、営農に必要な用水を安定的に供給する。			
主な利用者	なし			
運営形態	直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	0.00 m ²	総延床面積	27.01 m ²
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正 化計画	代表地目(現況地目)		耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
	用途地域	市街化調整区域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1990/3/31
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	35
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※	1m～3m	車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	-
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	-
	避難所		脱炭素 太陽光発電 ZEBの種類	
※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	274	196
	物件費(光熱水費)	0	864	565
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	1,138	761
行政コスト(B-A)		0	1,138	761
収支前年比		0.00	149.54	83.63
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		95	95	95
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	194	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	—	—	—	
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
24-003	欠下排水機場	—	0.6	
24-005	半田排水機場	—	1.7	
同分類				
14-010	東消防署有玉出張所	地域	0.5	
18-011	有玉西町防災倉庫	地域	0.7	
08-037	有玉幼稚園	生活	0.8	
07-039	ありたま・ありたま第2放課後児童会	生活	0.8	
10-011	ふれあい交流センター萩原	地域	0.9	
15-050	有玉小学校	生活	0.9	
13-022	有玉台団地	地域	1.0	
13-018	萩丘団地	地域	1.2	

基本情報	リストNo	24-004	施設コード	01794	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	大菩薩揚水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		許可水利権に基づき、営農に必要な用水を安定的に供給する。						
		主な業務内容	用水時期(5月から10月)に取水を行うためのポンプを稼働させる。※浜松土地改良区に管理委託					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		水利状況は変わっていない。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		水利状況が大幅に変わることはない。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
事業②		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
事業③		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
事業④		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	0	42,133	28,175	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
<p>↑利用状況、前年収支比等による評価</p> <p>→前年収支比、施設1戸あたりの市食担額等による評価</p> <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>→前年収支比、施設1戸あたりの市食担額等による評価</p> <p>↑利用状況等による評価</p> <p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	施設の老朽化が進み、更新時期がきている。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理費の平準化を図る。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
複合化		—	
広域化		—	
民活導入	—		
個別方針	農業用水を供給する施設として、適切な維持管理に努める。用水受益地の減少により機能が過剰となった場合、存続について検討する。		

リストNo	24-005	施設コード	02285	
利用用途別分類(施設分類)	ポンプ・排水機場			
施設名	半田排水機場			
所在(町名・番地)	中央区半田町1356			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
主管課	産業部農地整備課			
所管課	産業部農地整備課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者	なし			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	1,793.00 m ²	総延床面積	161.12 m ²
	うち所有面積	1,793.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
代表地目(現況地目)	運河用地		耐震性能(Ia値)(主要建物)	
用途地域	市街化調整区域		耐震工事(主要建物)	-
立地適正化計画	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1980/3/1
	都市機能誘導区域	-	経過年数(主要建物)	45
	居住誘導区域	-		
防災情報	土砂災害警戒区域※		身障者用駐車場	-
	浸水エリアの場合の浸水深		車イスでの施設利用	-
	洪水ハザードマップ※	3m～5m	エレベーター	-
	南海トラフ巨大地震津波※		多機能トイレ	-
緊急避難場所		脱炭素	太陽光発電	
避難所			ZEBの種類	
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。			



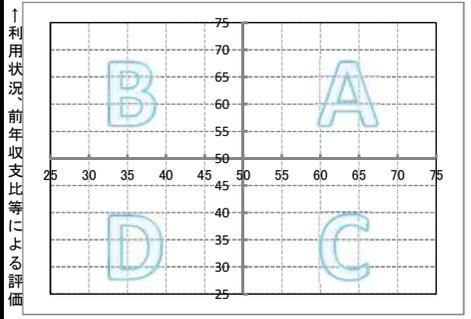
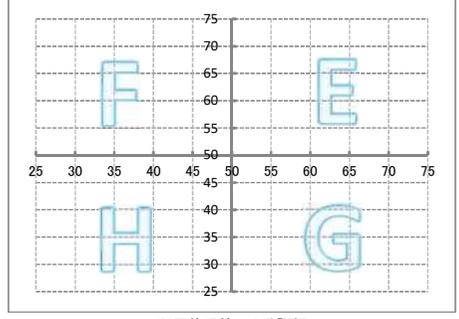
項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	370	357	449
	維持補修費(修繕費)	734	0	1,677
	物件費(光熱水費)	648	606	528
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,752	963	2,654	
行政コスト(B-A)	1,752	963	2,654	
収支前年比	181.93	36.28	69.75	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	2,449	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	246,918	—	246,918
財源	国・県	209,880	—	209,880
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	37,038	—	37,038

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

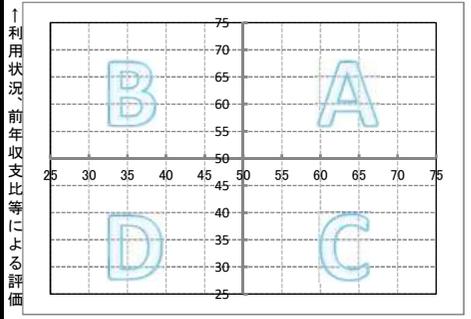
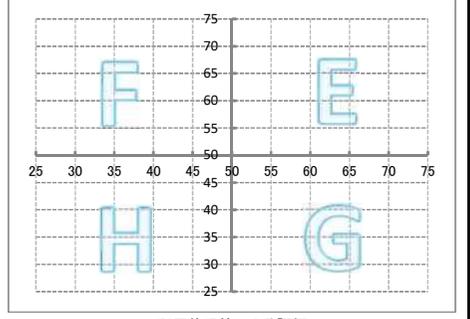


近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
24-003	欠下排水機場	—	1.2	
24-006	半田揚水機場	—	1.2	
24-039	内野排水機場	—	1.5	
24-004	大菩薩揚水機場	—	1.7	
同分類				
その他の分類	14-047	浜松第34分団	コミュニティ	0.6
	15-111	積志中学校	生活	0.9
	15-050	有玉小学校	生活	1.1
	07-039	ありたま・ありたま第2放課後児童会	生活	1.1
	07-038	積志ひまわり放課後児童会	生活	1.1
	15-034	積志小学校	生活	1.1
	13-022	有玉台団地	地域	1.1
	01-011	北部収集窓口センター	地域	1.2

基本情報	リストNo	24-005	施設コード	02285	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	半田排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	10,874	5,977	16,472	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
	個別方針		
	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

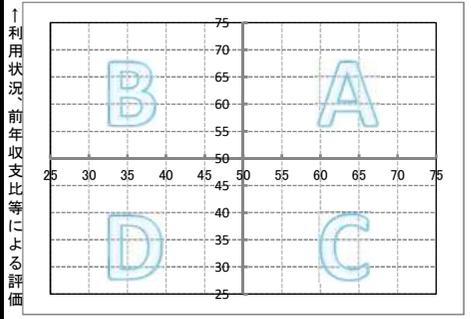
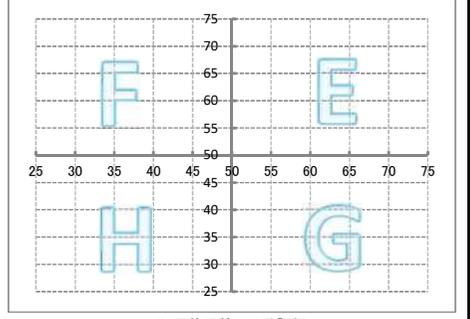
基本情報	リストNo	24-006	施設コード	04571	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	半田揚水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		許可水利権に基づき、営農に必要な用水を安定的に供給する。						
		主な業務内容	用水時期(5月から10月)に取水を行うためのポンプを稼働させる。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		水利状況は変わっていない。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		水利状況が大幅に変わることはない。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
事業②		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
事業③		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
事業④		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	15,432	8,973	18,229	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
<p>↑利用状況、前年収支比等による評価</p> <p>→前年収支比、施設1戸あたりの市食採額等による評価</p> <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p> <p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	施設の老朽化が進み、更新時期がきている。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理費の平準化を図る。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		
	民間移管		
	管理主体変更		
	非保有		
	統廃合		
民活導入	複合化		
	複合化		
	広域化		
個別方針	農業用水を供給する施設として、適切な維持管理に努める。用水受益地の減少により機能が過剰となった場合、存続について検討する。		

基本情報	リストNo	24-007	施設コード	01607	主管課	土木部河川課		
	施設名	西部排水機場			所管課	土木部河川課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	安全で安心して暮らせる川づくりの推進						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		大雨時等に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合に稼働させる。日常的には保守点検を行い緊急時に備えている。					
		主な利用者	なし					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大規模化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会的にニーズが高まっている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		台風による大雨や局地的な集中豪雨は増加傾向にあり、さらに重要となると予想される。					
	特記事項		緊急時に備え、施設の維持管理を続ける必要がある。					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2024	0	0	0		
			2023	0	0	0		
			2022	—	—	—		
			2024	0	0	0		
事業②		—	2023	0	0	0		
			2022	—	—	—		
			2024	0	0	0		
事業③		—	2023	0	0	0		
			2022	—	—	—		
事業④	—	2024	0	0	0			
		2023	0	0	0			
		2022	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	29,438	28,075	39,749	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価→</p>	
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	長寿命化計画に基づき2016年から五箇年計画で雨水ポンプ施設等の更新作業を行う。継続的な予算配当が必要となる。		
対応策	雨水ポンプ施設の更新計画に基づき工事進捗を図る。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
複合化		—	
広域化		—	
民活導入	消防設備点検業務、自家用電気工作物保安管理業務、降雨時運転操作監視業務、及び運転・保守・施設管理業務を業務委託発注している。これら業務委託については今後も継続する。		
個別方針	地域住民の安全を確保する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

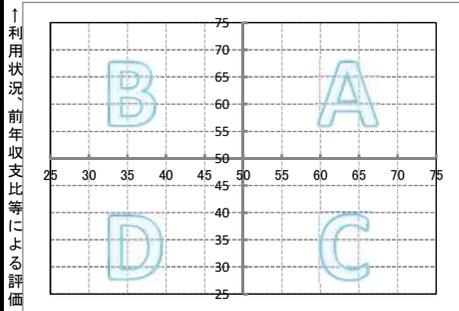
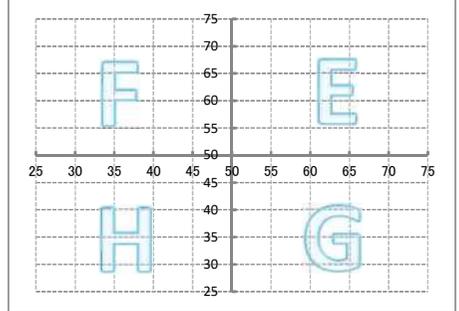
基本情報	リストNo	24-008	施設コード	00592	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	境川排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	12,039	12,479	16,502	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
	個別方針		
緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。			

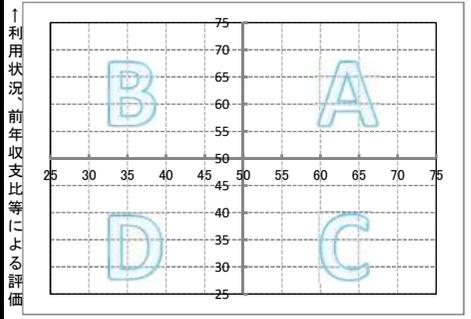
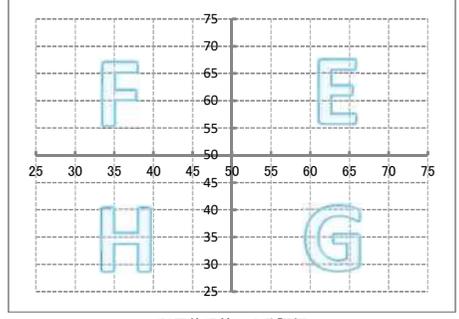
基本情報	リストNo	24-009	施設コード	02714	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	薬師谷排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	8,716	49,984	9,890	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
複合化		—	
広域化		—	
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
個別方針	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

基本情報	リストNo	24-010	施設コード	00900	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	佐浜第1排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
事業③		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
	—			2024	0	0	0	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	11,199	11,409	24,300	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

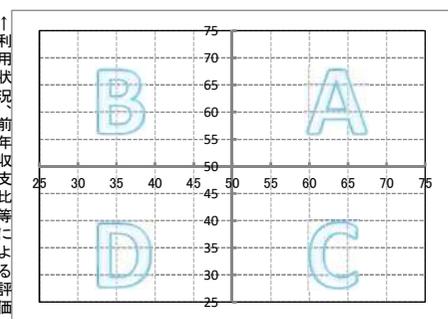
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→ ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。		利用状況等による評価→	
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある			
【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある			
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
	個別方針		
	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

基本情報	リストNo	24-011	施設コード	00901	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	佐浜第2排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	5,440	7,504	9,584	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
複合化		—	
広域化		—	
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
個別方針	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

基本情報	リストNo	24-012	施設コード	00681	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	古人見排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
		—		2024	0	0	0	
事業②		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
事業③		—		2022	—	—	—	
		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
事業④		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
	—		2024	0	0	0		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	11,137	8,978	12,142	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

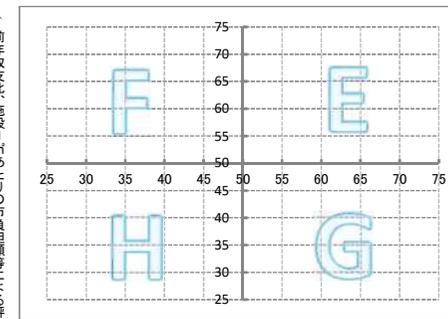
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)



建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)



利用状況等による評価→

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。

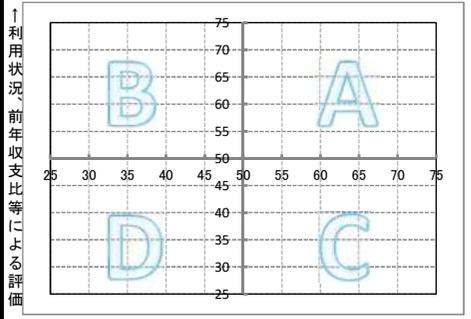
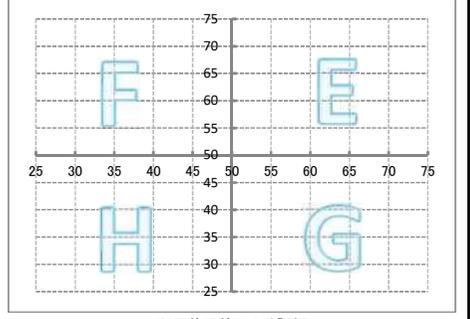
今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		
	民間移管		
	管理主体変更		
	非保有		
	統廃合		
	複合化		
	広域化		

民活導入 現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。

個別方針 緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。

基本情報	リストNo	24-013	施設コード	02869	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	和地排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	9,298	9,331	11,074	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

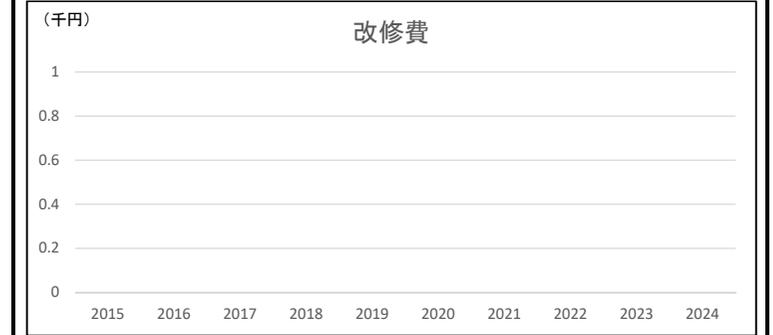
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
複合化		—	
広域化		—	
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
個別方針	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

リストNo	24-014	施設コード	02875	
利用用途別分類(施設分類)	ポンプ・排水機場			
施設名	和田排水機場			
所在(町名・番地)	中央区庄和町1917-4			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
主管課	産業部農地整備課			
所管課	産業部農地整備課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者	なし			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	1,945.00 m ²	総延床面積	147.71 m ²
	うち所有面積	1,945.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	公衆用道路	耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
	用途地域	市街化調整区域	耐震工事(主要建物)	-
		誘導施設	都市機能誘導区域	建築年月日(主要建物)
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	43
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※	0.3m～0.5m	エレベーター	-
	緊急避難場所		多機能トイレ	-
避難所		脱炭素	太陽光発電	
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。			



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	432	391	405
	維持補修費(修繕費)	418	292	292
	物件費(光熱水費)	573	541	507
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,423	1,224	1,204	
行政コスト(B-A)	1,423	1,224	1,204	
収支前年比	116.26	101.66	131.87	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	952	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	298,724	—	298,724
財源	国・県	253,916	—	253,916
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	44,808	—	44,808

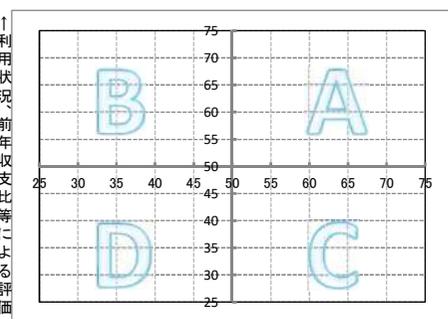
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
15-040	村櫛小学校	生活	1.2
26-010	村櫛中継ポンプ場	—	1.4
03-099	村櫛会館	コミュニティ	1.6
08-042	村櫛幼稚園	生活	1.6
14-054	浜松第40分団	コミュニティ	1.7

基本情報	リストNo	24-014	施設コード	02875	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	和田排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。						
	特記事項	—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
		—		2024	0	0	0	
事業②		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
		—		2024	0	0	0	
事業③		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
事業④		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
事業④		—		2022	—	—	—	
	—		2024	0	0	0		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	9,634	8,287	8,151	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)



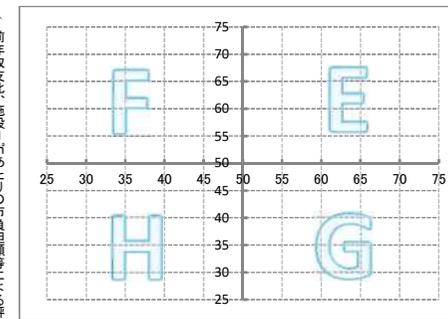
↑利用状況、前年収支比等による評価

←前年収支比、施設1あたりの市食採額等による評価

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)



供給状況等による評価→

【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】
A: 建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
B: 利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
C: 建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
D: 建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】
E: 利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
F: 財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
G: 利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
H: 利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
	複合化		—
	広域化		—

民活導入

現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。

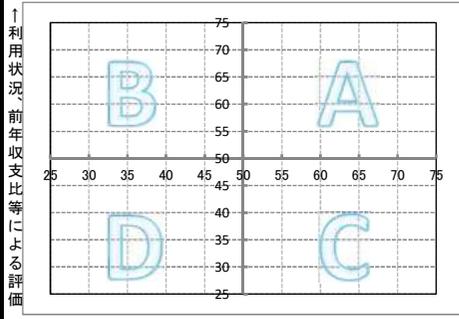
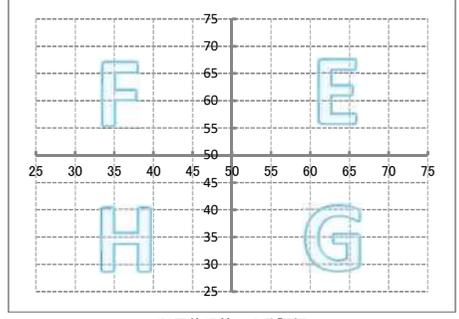
個別方針

緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。

基本情報	リストNo	24-015	施設コード	01152	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	篠原東排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
事業③		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
	—			2024	0	0	0	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	18,817	27,249	25,843	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。大地震による津波の逆流防止対策が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
			—
			—
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
個別方針	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

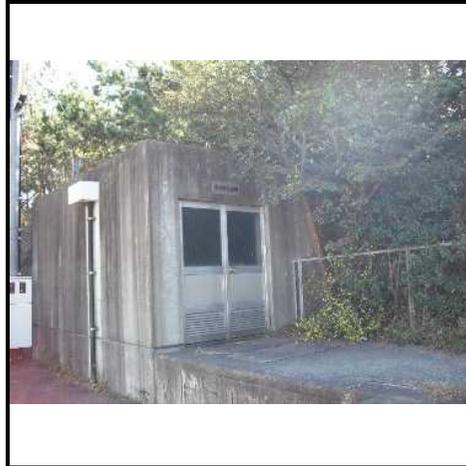
基本情報	リストNo	24-016	施設コード	01149	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	篠原中排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
		—		2024	0	0	0	
事業②		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
事業③		—		2022	—	—	—	
		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
事業④	—		2024	0	0	0		
	—		2023	0	0	0		
	—		2022	—	—	—		
	—		2024	0	0	0		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	26,178	24,497	24,434	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。大地震による津波の逆流防止対策が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
複合化		—	
広域化		—	
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
個別方針	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

基本情報	リストNo	24-017	施設コード	02217	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	馬郡排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	19,577	18,729	27,279	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
<td colspan="2"> </td>			
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。大地震による津波の逆流防止対策が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
複合化		—	
広域化		—	
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
個別方針	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

リストNo	24-018	施設コード	01956		
利用用途別分類(施設分類)	ポンプ・排水機場				
施設名	坪井排水機場				
所在(町名・番地)	中央区坪井町5120-2				
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設		
主管課	産業部農地整備課				
所管課	産業部農地整備課				
設置根拠(法)					
条例					
設置目的	農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。				
主な利用者	なし				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	—				
土地情報	土地面積	0.00 m ²	総延床面積	33.39 m ²	
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1	
代表地目(現況地目)			耐用性能(1a値)(主要建物)	新	
用途地域	市街化調整区域		耐震工事(主要建物)	-	
	誘導施設			建築年月日(主要建物)	1996/5/2
	都市機能誘導区域	-	経過年数(主要建物)	28	
居住誘導区域	-				
防災情報	土砂災害警戒区域※			身障者用駐車場	-
	浸水エリアの場合の浸水深			車イスでの施設利用	-
	洪水ハザードマップ※	0.5m～1m		エレベーター	-
	南海トラフ巨大地震津波※	5m～10m		多機能トイレ	-
緊急避難場所			太陽光発電		
避難所			ZEBの種類		
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



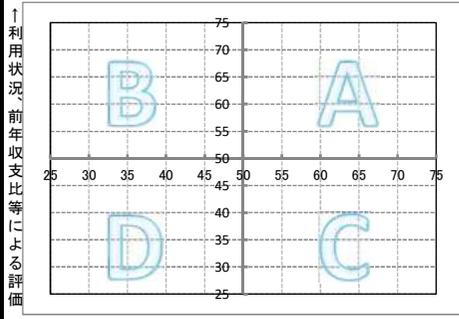
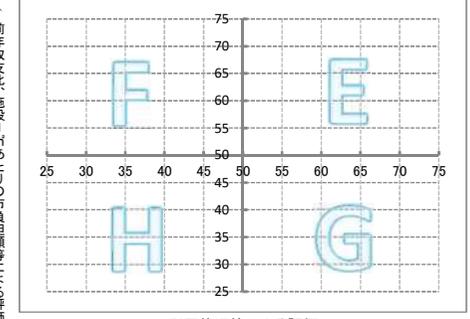
項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	229	223	223
	物件費(光熱水費)	693	677	636
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)		922	900	859
行政コスト(B-A)		922	900	859
収支前年比		102.44	104.77	101.66
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		581	581	581
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	5,255	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	—	—	—	
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2024	ポンプ更新工事	14,408			



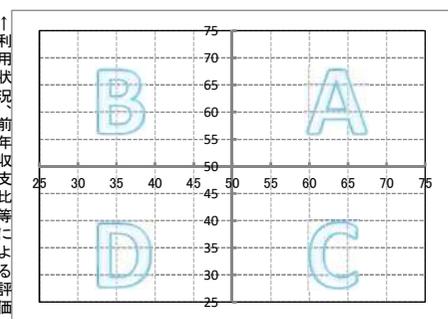
近隣施設				
	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同分類	24-016	篠原中排水機場	—	0.5
	24-017	馬郡排水機場	—	0.6
	24-020	小山川排水機場	—	1.9
その他の分類	15-113	篠原中学校	生活	1.1
	07-046	篠原放課後児童会	生活	1.2
	15-038	篠原小学校	生活	1.2
	03-045	篠原協働センター	生活	1.3
	14-050	浜松第38分団	コミュニティ	1.4
	20-002	西部清掃工場	市域	1.6
	14-011	西消防署	地域	1.8
	01-013	西行政センター	地域	1.9

基本情報	リストNo	24-018	施設コード	01956	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	坪井排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
		—		2024	0	0	0	
事業②		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
事業③		—		2022	—	—	—	
		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
事業④	—		2024	0	0	0		
	—		2023	0	0	0		
	—		2022	—	—	—		
	—		2024	0	0	0		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	27,613	26,954	25,726	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>利用状況等による評価→</p>					
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>				<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
施設に関する課題等(ハード面から)							
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。大地震による津波の逆流防止対策が必要である。						
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。						
今後の方針							
見直し方針	方向性	該当	備考欄				
	廃止		—				
	民間移管		—				
	管理主体変更		—				
	非保有		—				
	統廃合		—				
複合化		—					
広域化		—					
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。						
個別方針	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。						

基本情報	リストNo	24-019	施設コード	02847	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	六間川排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
事業③		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
	—			2024	0	0	0	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	6,674	9,573	9,543	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)



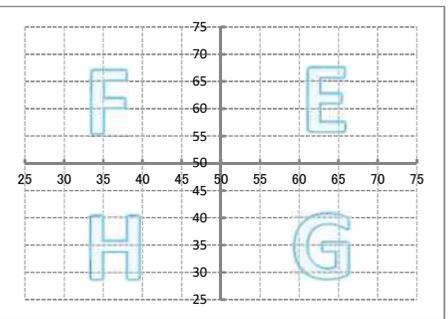
↑利用状況、前年収支比等による評価

←前年収支比、施設1あたりの市食採額等による評価

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)



供給状況等による評価→

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

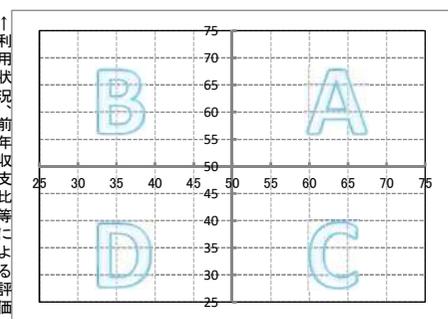
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
			—
			—
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
個別方針	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

基本情報	リストNo	24-020	施設コード	01246	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	小山川排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
事業③		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
	—			2024	0	0	0	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	6,710	24,160	7,852	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)



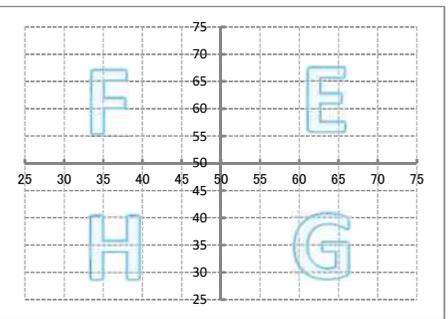
↑利用状況、前年収支比等による評価

←前年収支比、施設1あたりの市食採額等による評価

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)



供給状況等による評価→

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。

今後の方針

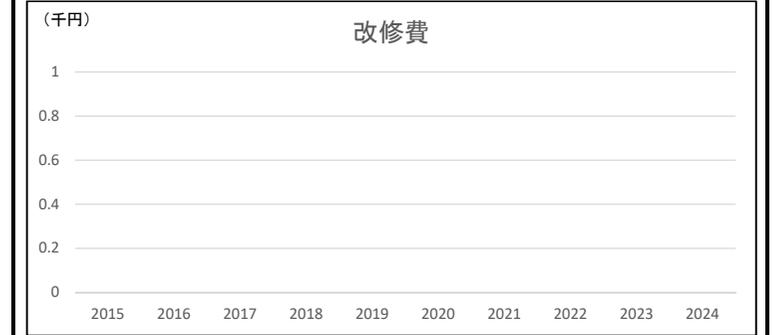
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
			—
			—
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
個別方針	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

リストNo	24-021	施設コード	00714	
利用用途別分類(施設分類)	ポンプ・排水機場			
施設名	御給排水機場			
所在(町名・番地)	中央区御給町233-1			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
主管課	産業部農地整備課			
所管課	産業部農地整備課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者	なし			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	1,797.00 m ²	総延床面積	152.40 m ²
	うち所有面積	1,797.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
代表地目(現況地目)	雑種地		耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
用途地域	市街化調整区域		耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1989/3/1
	都市機能誘導区域	-	経過年数(主要建物)	36
居住誘導区域	-			
防災情報	土砂災害警戒区域※		身障者用駐車場	-
	浸水エリアの場合の浸水深		車イスでの施設利用	-
	洪水ハザードマップ※	5m～10m	エレベーター	-
	南海トラフ巨大地震津波※	1m～3m	多機能トイレ	-
緊急避難場所		脱炭素	太陽光発電	
避難所			ZEBの種類	
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。			



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	322	308	306
	維持補修費(修繕費)	0	0	750
	物件費(光熱水費)	652	603	581
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	974	911	1,637	
行政コスト(B-A)	974	911	1,637	
収支前年比	106.92	55.65	53.51	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	1,129	1,129	1,129	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	229	2,300	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	368,982	—	368,982
財源	国・県	313,635	—	313,635
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	55,347	—	55,347

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
24-027	寺脇排水機場	—	1.6
06-011	南陽図書館	地域	0.6
03-047	南陽協働センター	生活	0.6
14-060	浜松第17分団	コミュニティ	0.9
14-017	南消防署芳川出張所	地域	1.1
15-121	東陽中学校	生活	1.1
14-061	浜松第18分団	コミュニティ	1.2
03-048	五島協働センター	生活	1.3
07-054	かわわ放課後児童会	生活	1.4

基本情報	リストNo	24-021	施設コード	00714	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	御給排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
		—		2021	—	—	—	
事業②		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
		—		2021	—	—	—	
事業③		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
		—		2021	—	—	—	
事業④	—		2024	0	0	0		
	—		2023	0	0	0		
	—		2022	—	—	—		
	—		2021	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	6,391	5,978	10,741	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

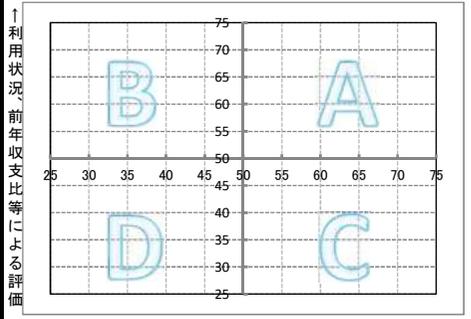
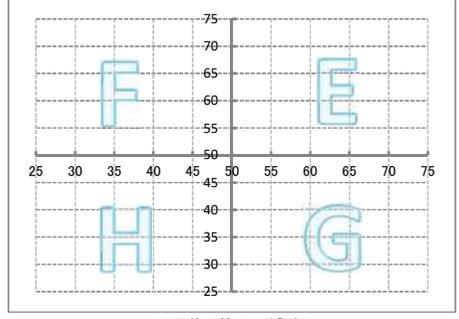
施設に関する課題等(ハード面から)

課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。大地震による津波(遡上)到達の危険性があるため、逆流防止対策が必要である。
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	
	民間移管	—	
	管理主体変更	—	
	非保有	—	
	統廃合	—	
個別方針	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

基本情報	リストNo	24-022	施設コード	04556	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	五島東・河輪排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	13,152	19,496	28,684	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱しているが、荒天時の長時間に及ぶ作業が発生するため、負担が大きく危険も伴う。このため、民間業者への業務の委託を検討する必要がある。		
	個別方針	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。	

基本情報	リストNo	24-023	施設コード	00704	主管課	産業部農地整備課			
	施設名	五島西排水機場			所管課	産業部農地整備課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。							
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。						
		主な利用者	なし						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—		2024	0	0	0		
		—		2023	0	0	0		
		—		2022	—	—	—		
		—		2021	—	—	—		
事業②		—		2024	0	0	0		
		—		2023	0	0	0		
		—		2022	—	—	—		
事業③		—		2024	0	0	0		
		—		2023	0	0	0		
事業④		—		2024	0	0	0		
		—		2023	0	0	0		
利用状況		項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
	参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
		行政コスト/面積(円)	15,910	5,962	6,177	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
施設利用率(%)		—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
1日当たり利用者(人)		—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
図書貸出率(%)		—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
入居率(%)		—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】
 A: 建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B: 利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C: 建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D: 建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】
 E: 利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F: 財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G: 利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H: 利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

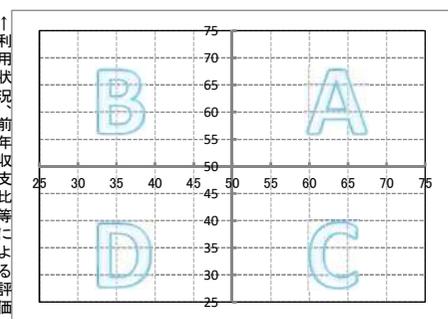
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。大地震による津波(遡上)到達の危険性があるため、逆流防止対策が必要である。
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	
	民間移管	—	
	管理主体変更	—	
	非保有	—	
	統廃合	—	
個別方針	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

基本情報	リストNo	24-024	施設コード	02012	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	田尻排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
事業③		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
	—			2024	0	0	0	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	10,503	10,792	10,157	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)



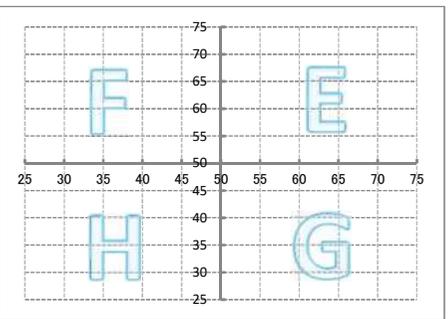
↑利用状況、前年収支比等による評価

←前年収支比、施設1あたりの市食採額等による評価

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)



供給状況等による評価→

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】
E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。大地震による津波(遡上)到達の危険性があるため、逆流防止対策が必要である。
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。

今後の方針

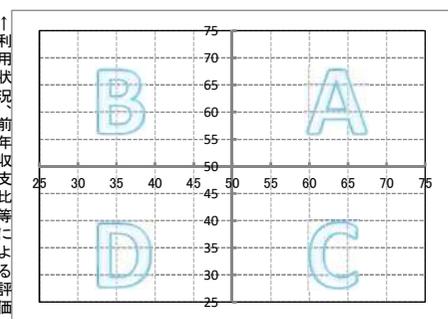
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
	複合化		—
	広域化		—

民活導入
現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱しているが、荒天時の長時間に及ぶ作業が発生するため、負担が大きく危険も伴う。このため、民間業者への業務の委託を検討する必要がある。

個別方針
緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。

基本情報	リストNo	24-025	施設コード	04557	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	六軒川排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
事業③		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
	—			2024	0	0	0	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	6,354	25,689	7,144	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

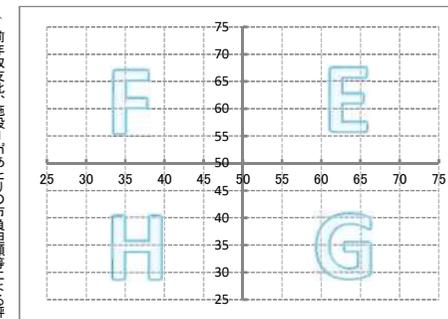
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)



建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)



利用状況等による評価→

【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】

A: 建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B: 利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C: 建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D: 建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】

E: 利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F: 財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G: 利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H: 利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。大地震による津波(遡上)到達の危険性があるため、逆流防止対策が必要である。
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
	複合化		—
	広域化		—

民活導入

現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。

個別方針

緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。

リストNo	24-026	施設コード	01910	
利用用途別分類(施設分類)	ポンプ・排水機場			
施設名	中田島排水機場			
所在(町名・番地)	中央区中田島町867-1			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
主管課	産業部農地整備課			
所管課	産業部農地整備課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者	なし			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	1,039.18 m ²	総延床面積	168.00 m ²
	うち所有面積	1,039.18 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	水道用地	耐震性能(I ₀ 値)(主要建物)	新
	用途地域	市街化調整区域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1986/3/1
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	39
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※	3m～5m	車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※	1m～3m	エレベーター	-
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	-
	避難所		太陽光発電	
※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	337	332	332
	維持補修費(修繕費)	687	249	792
	物件費(光熱水費)	340	350	323
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)		1,364	931	1,447
行政コスト(B-A)		1,364	931	1,447
収支前年比		146.51	64.34	90.72
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,037	1,037	1,037
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	14,589	39	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	274,763	—	274,763
財源	国・県	206,072	—	206,072
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	68,691	—	68,691

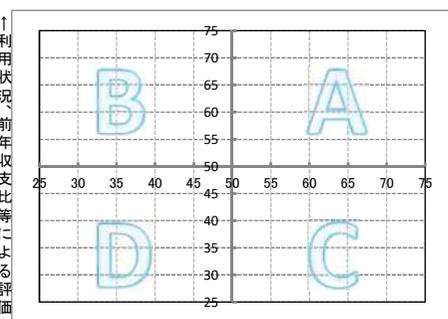
年度	内容	金額(千円)		
		年度	内容	金額(千円)



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
24-025	六軒川排水機場	—	0.4	
24-024	田尻排水機場	—	0.9	
24-027	寺脇排水機場	—	1.3	
24-023	五島西排水機場	—	1.9	
26-038	中田島団地雨水ポンプ場	—	0.6	
13-039	中田島団地	地域	0.7	
04-018	浜松まつり会館	地域	0.9	
14-018	南消防署白脇出張所・浜松第13分団	地域	0.9	
17-005	遠州灘海浜公園	地域	1.1	
15-043	砂丘小学校	生活	1.1	
08-033	白脇幼稚園	生活	1.2	
03-049	白脇協働センター	生活	1.2	

基本情報	リストNo	24-026	施設コード	01910	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	中田島排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
事業③		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
	—			2024	0	0	0	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	8,119	5,542	8,613	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

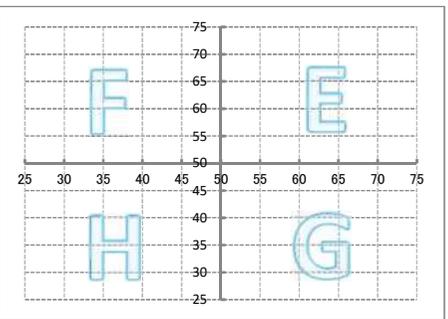
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)



建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)



利用状況等による評価→

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。大地震による津波(遡上)到達の危険性があるため、逆流防止対策が必要である。
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
	複合化		—
	広域化		—

民活導入 現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。

個別方針 緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。

リストNo	24-027	施設コード	01127	
利用用途別分類(施設分類)	ポンプ・排水機場			
施設名	寺脇排水機場			
所在(町名・番地)	中央区寺脇町1726			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
主管課	産業部農地整備課			
所管課	産業部農地整備課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者	なし			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	0.00 m ²	総延床面積	292.99 m ²
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
代表地目(現況地目)				
用途地域	市街化調整区域			
立地適正化計画	誘導施設			
	都市機能誘導区域	-		
	居住誘導区域	-		
防災情報	土砂災害警戒区域※	UD化情報	身障者用駐車場	-
	浸水エリアの場合の浸水深		車イスでの施設利用	-
	洪水ハザードマップ※		エレベーター	-
	3m～5m		多機能トイレ	-
南海トラフ巨大地震津波※				
緊急避難場所	脱炭素	太陽光発電		
避難所		ZEBの種類		
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。			



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	405	358	374
	維持補修費(修繕費)	0	0	1,128
	物件費(光熱水費)	876	824	788
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,281	1,182	2,290	
行政コスト(B-A)	1,281	1,182	2,290	
収支前年比	108.38	51.62	113.09	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	2,065	2,065	2,065	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	24,858	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	1,002,416	—	1,002,416	
財源	国・県	852,054	—	852,054
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	150,362	—	150,362

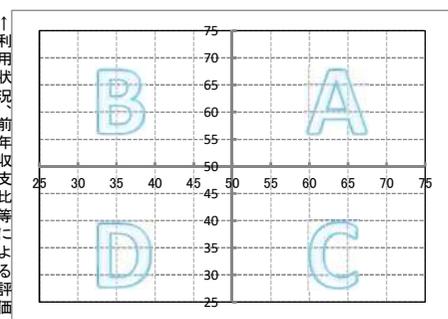
年度	内容	金額(千円)		年度	内容	金額(千円)	



近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	同分類	24-025	六軒川排水機場	—
24-023		五島西排水機場	—	1.2
24-026		中田島排水機場	—	1.3
24-021		御給排水機場	—	1.6
その他の分類	01-014	南行政センター	地域	0.4
	17-005	遠州灘海浜公園	地域	0.5
	10-009	ふれあい交流センター江之島	地域	0.5
	15-117	江南中学校	生活	0.9
	04-018	浜松まつり会館	地域	1.0
	13-039	中田島団地	地域	1.1
	26-038	中田島団地雨水ポンプ場	—	1.1
	14-018	南消防署白脇出張所・浜松第13分団	地域	1.2

基本情報	リストNo	24-027	施設コード	01127	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	寺脇排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	4,372	4,034	7,816	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

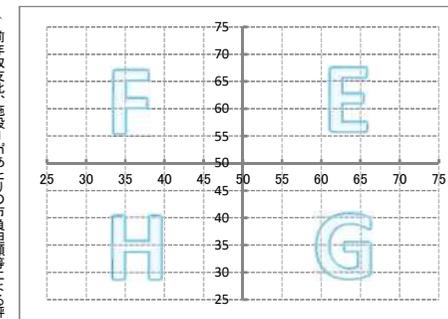
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)



建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)



利用状況等による評価→

↑利用状況、前年収支比率等による評価 ← 前年収支比率、施設1あたりの市食採額等による評価

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。大地震による津波(遡上)到達の危険性があるため、逆流防止対策が必要である。
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	
	民間移管	—	
	管理主体変更	—	
	非保有	—	
	統廃合	—	
	複合化	—	
	広域化	—	

民活導入 現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。

個別方針 緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。

リストNo	24-028	施設コード	01696	
利用用途別分類(施設分類)	ポンプ・排水機場			
施設名	倉松排水機場			
所在(町名・番地)	中央区倉松町3915-2			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
主管課	産業部農地整備課			
所管課	産業部農地整備課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者	なし			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	1,901.00 m ²	総延床面積	266.17 m ²
	うち所有面積	1,901.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	2
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	水道用地	耐震性能(Ia値)(主要建物)	
	用途地域	市街化調整区域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1980/3/1
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	45
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※	1m～3m	車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※	1m～3m	エレベーター	-
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	-
	避難所		太陽光発電	
		脱炭素	ZEBの種類	

※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	581	544	562
	維持補修費(修繕費)	0	2,434	888
	物件費(光熱水費)	460	486	214
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,041	3,464	1,664
	行政コスト(B-A)	1,041	3,464	1,664
	収支前年比	30.05	208.17	191.71
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	0	0	0
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	15,103	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	—	—	—
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

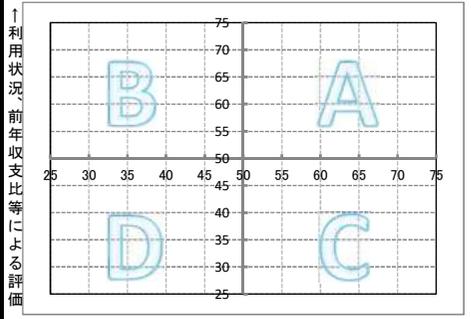
年度	内容	金額(千円)		
		年度	内容	金額(千円)



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
20-010	南部清掃センター	地域	0.4
03-050	新津協働センター	生活	1.5
07-057	なかよし第2放課後児童会	生活	1.5
15-017	新津小学校	生活	1.5
14-058	浜松第19分団	コミュニティ	1.6
15-100	新津中学校	生活	1.6
08-017	可美保育園	生活	1.9

基本情報	リストNo	24-028	施設コード	01696	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	倉松排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	3,911	13,014	6,252	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

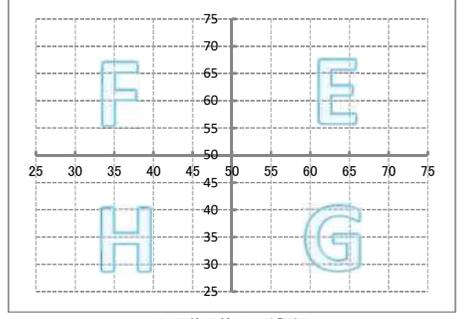
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)



建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

↑前年収支比、施設1戸あたりの市食担額等による評価

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)



利用状況等による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】

A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】

E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。大地震による津波の逆流防止対策が必要である。
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
	複合化		—
	広域化		—

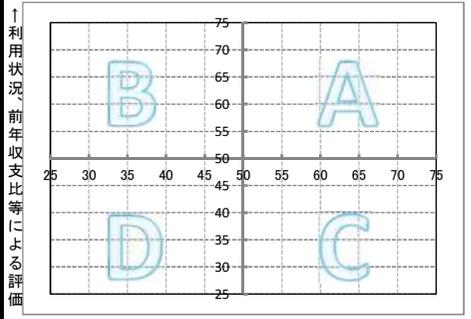
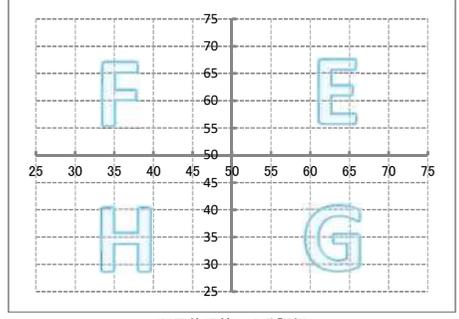
民活導入

現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱しているが、荒天時の長時間に及ぶ作業が発生するため、負担が大きく危険も伴う。このため、民間業者への業務の委託を検討する必要がある。

個別方針

緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。

基本情報	リストNo	24-029	施設コード	00493	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	吉影排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
事業③		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
	—			2024	0	0	0	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	8,159	19,850	12,733	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
			—
			—
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
個別方針	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

リストNo	24-030	施設コード	00221	
利用用途別分類(施設分類)	ポンプ・排水機場			
施設名	一色排水機場			
所在(町名・番地)	浜名区都田町272-5			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
主管課	産業部農地整備課			
所管課	産業部農地整備課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者	なし			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	2,086.00 m ²	総延床面積	136.00 m ²
	うち所有面積	2,086.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	堤塘敷	耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
	用途地域	市街化調整区域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1984/4/1
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	41
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※	5m～10m	車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	-
	緊急避難場所		多機能トイレ	-
避難所		脱炭素	太陽光発電	
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。			



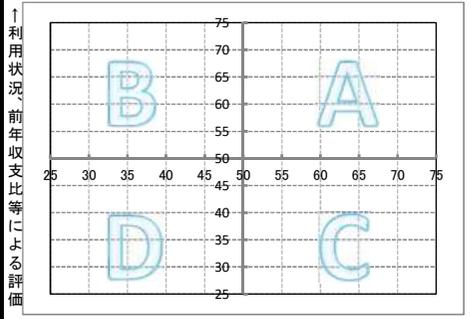
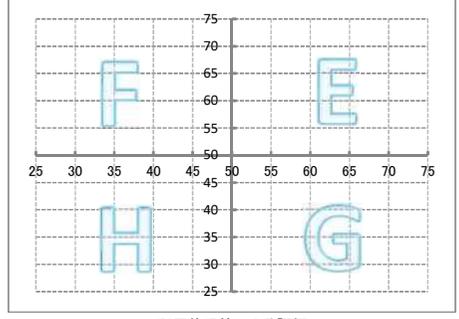
項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	465	473	420
	維持補修費(修繕費)	207	0	1,021
	物件費(光熱水費)	559	540	504
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,231	1,013	1,945	
行政コスト(B-A)	1,231	1,013	1,945	
収支前年比	121.52	52.08	61.05	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	26	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	931	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	340,400	—	340,400
	国・県	288,117	—	288,117
	寄付金	—	—	—
財源	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	52,283	—	52,283

年度	内容	金額(千円)		
		年度	内容	金額(千円)



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
24-029	吉影排水機場	—	0.2
24-035	祝田排水機場	—	2.0
同分類			
26-026	都田地区農業集落排水処理施設	—	0.6
15-031	都田小学校	生活	1.7
03-053	都田協働センター	生活	1.9
その他の分類			

基本情報	リストNo	24-030	施設コード	00221	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	一色排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	9,051	7,449	14,301	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→ ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。		利用状況等による評価→	
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
複合化		—	
広域化		—	
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
個別方針	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

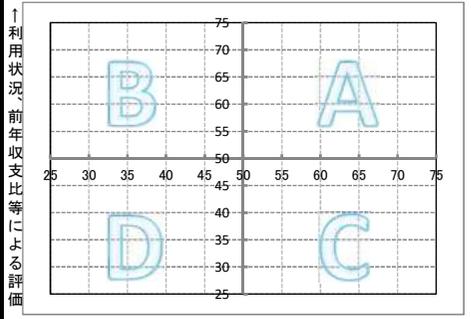
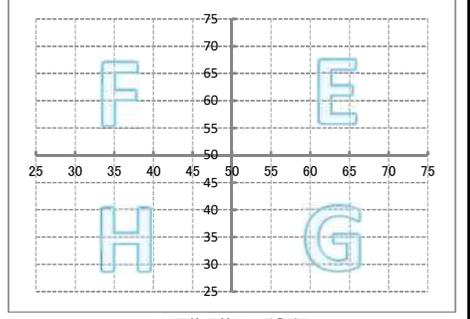
基本情報	リストNo	24-031	施設コード	04311	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	沖通り排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	15,969	84,831	13,823	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
	個別方針		
緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。			

基本情報	リストNo	24-032	施設コード	04310	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	三和第2排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	9,579	9,140	3,908	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
	個別方針		
	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

基本情報	リストNo	24-033	施設コード	00637	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	刑部排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	7,329	8,478	7,176	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
民生導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
	個別方針		
緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。			

リストNo	24-034	施設コード	01027		
利用用途別分類(施設分類)	ポンプ・排水機場				
施設名	三和第1排水機場				
所在(町名・番地)	浜名区細江町中川4547				
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設		
主管課	産業部農地整備課				
所管課	産業部農地整備課				
設置根拠(法)					
条例					
設置目的	農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。				
主な利用者	なし				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	—				
土地情報	土地面積	1,156.00 m ²	総延床面積	223.51 m ²	
	うち所有面積	1,156.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1	
代表地目(現況地目)	用悪水路		耐震性能(Ia値)(主要建物)		
用途地域	市街化調整区域		耐震工事(主要建物)	-	
立地適正化計画	誘導施設			建築年月日(主要建物)	1980/4/1
	都市機能誘導区域	-		経過年数(主要建物)	45
	居住誘導区域	-			
防災情報	土砂災害警戒区域※			身障者用駐車場	-
	浸水エリアの場合の浸水深			車イスでの施設利用	-
	洪水ハザードマップ※	5m～10m		エレベーター	-
	南海トラフ巨大地震津波※	1m～3m		多機能トイレ	-
緊急避難場所			脱炭素	太陽光発電	
避難所				ZEBの種類	
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	516	447	431
	維持補修費(修繕費)	1,647	5,555	349
	物件費(光熱水費)	411	433	239
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	2,574	6,435	1,019
	行政コスト(B-A)	2,574	6,435	1,019
	収支前年比	40.00	631.50	131.48
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	0	0	0
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,033	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	189,300	—	189,300
財源	国・県	170,369	—	170,369
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	18,931	—	18,931

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	建具改修工事	12,000			



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
24-036	広岡排水機場	—	0.7
24-033	刑部排水機場	—	1.0
24-035	祝田排水機場	—	1.8
14-019	北消防署	地域	0.4
05-038	細江総合グラウンド器具庫	小規模等	0.8
13-043	小野田地	地域	0.9
05-016	細江総合体育センター体育館	地域	0.9
15-080	気賀小学校	生活	1.0
14-065	細江中央分団	コミュニティ	1.1
15-083	中川小学校	生活	1.1
07-064	中川放課後児童会	生活	1.2

基本情報	リストNo	24-034	施設コード	01027	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	三和第1排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	11,516	28,791	4,559	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。

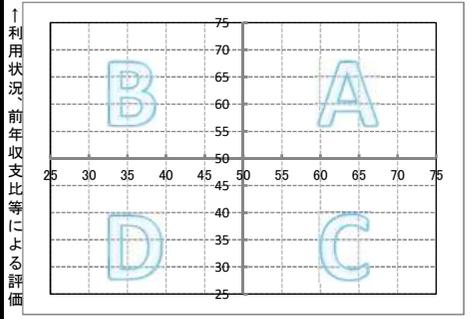
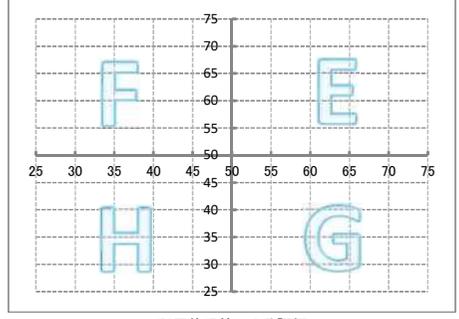
今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
	複合化		—
	広域化		—

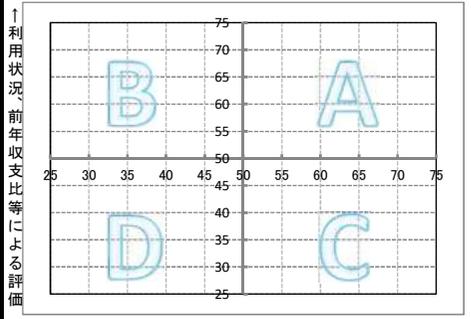
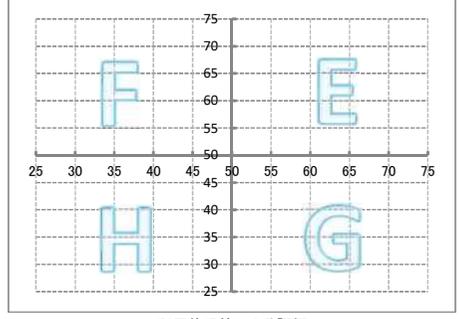
民活導入 現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。

個別方針 緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。

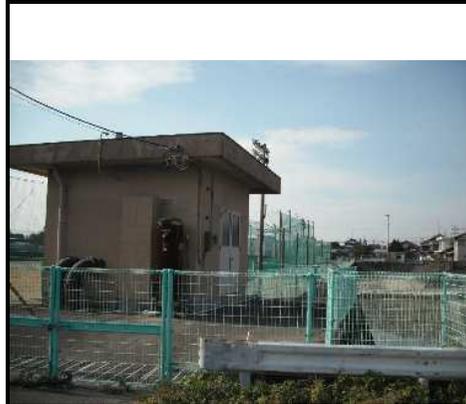
基本情報	リストNo	24-035	施設コード	01202	主管課	産業部農地整備課			
	施設名	祝田排水機場			所管課	産業部農地整備課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。							
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。						
		主な利用者	なし						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—			2024	0	0	0	
		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
		—			2024	0	0	0	
事業②		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
		—			2024	0	0	0	
事業③		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
事業④		—			2024	0	0	0	
		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
利用状況		項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
		利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
		利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	6,074	39,050	12,888	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
複合化		—	
広域化		—	
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
個別方針	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

基本情報	リストNo	24-036	施設コード	00761	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	広岡排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況 のべ募集人員 参加者数	
事業①		—		2024	0	0 0		
		—		2023	0	0 0		
		—		2022	—	— —		
事業②		—		2024	0	0 0		
	—		2023	0	0 0			
	—		2022	—	— —			
事業③	—		2024	0	0 0			
	—		2023	0	0 0			
	—		2022	—	— —			
事業④	—		2024	0	0 0			
	—		2023	0	0 0			
	—		2022	—	— —			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	5,747	3,759	9,132	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
民生導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
	個別方針		
	緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

リストNo	24-037	施設コード	01279	
利用用途別分類(施設分類)	ポンプ・排水機場			
施設名	小林雨水貯留池排水ポンプ室			
所在(町名・番地)	浜名区西美蘭3015-1			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
主管課	土木部浜名土木整備事務所			
所管課	土木部浜名土木整備事務所			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	大雨時等に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者	なし			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	0.00 m ²	総延床面積	17.63 m ²
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	コンクリートブロック造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正化計画	代表地目(現況地目)		耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
	用途地域	第一種中高層住居専用地域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1987/3/31
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	38
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※	5m～10m	車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	-
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	-
	避難所		太陽光発電	
		脱炭素	ZEBの種類	
※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	545	414	257
	物件費(光熱水費)	651	555	615
	物件費(借地料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
行政コスト(B-A)	1,196	969	872	
收支前年比	123.43	111.12	95.72	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	—	—	—	
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

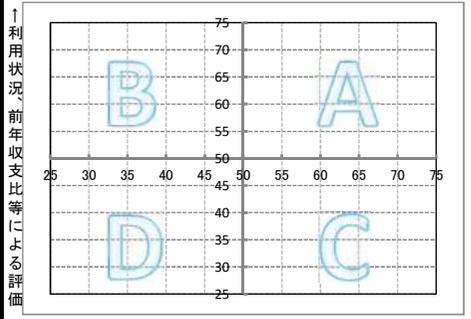
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
24-038	瀬崎雨水貯留池排水ポンプ室	—	0.9
10-014	ふれあい交流センター浜北	地域	0.3
07-070	第一・第二すみれクラブ	生活	0.5
07-071	第一・第二すずらんクラブ	生活	0.5
15-068	北浜北小学校	生活	0.5
08-049	北浜北幼稚園	生活	0.6
08-048	北浜中央幼稚園	生活	0.7
14-083	北浜東部分団本沢合	コミュニティ	0.8
17-007	美蘭中央公園	地域	1.0

基本情報	リストNo	24-037	施設コード	01279	主管課	土木部浜名土木整備事務所			
	施設名	小林雨水貯留池排水ポンプ室			所管課	土木部浜名土木整備事務所			
施設運営分析	複合施設								
	関連政策名	災害に強く、安全で快適な社会基盤の構築と強化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		大雨時等に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。							
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合に稼働させる。日常的には、保守点検を行い緊急時に備え維持、管理、修繕を行っている。						
		主な利用者	なし						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		近年の台風の強大化や局地的な集中豪雨等の増加により社会的ニーズは高まっている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		台風による大雨や局地的な集中豪雨は増加傾向にあり、さらに重要となる。						
	特記事項		緊急時に備え施設の維持管理を継続する必要がある。						
主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—		2024	0	0	0		
		—		2023	0	0	0		
		—		2022	—	—	—		
	事業②	—		2024	0	0	0		
—		2023	0	0	0				
—		2022	—	—	—				
事業③	—		2024	0	0	0			
	—		2023	0	0	0			
	—		2022	—	—	—			
事業④	—		2024	0	0	0			
	—		2023	0	0	0			
	—		2022	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	67,839	54,963	49,461	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

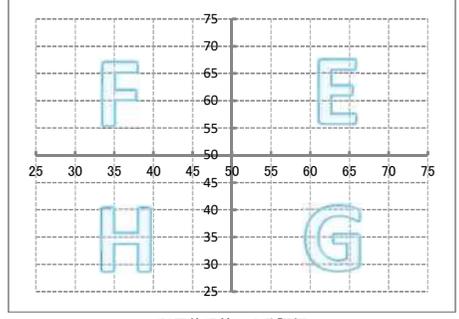
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)



建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)



利用状況等による評価→

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	今後、台風などの大雨や集中豪雨の増加、土地利用の変化等により浸水被害が予想される。また、施設老朽化が進行しているため、計画的な更新が必要である。
対応策	河川施設全般の長寿化計画を策定し、計画的な更新を実施する。財政面では、更新時期の集中を回避するように平準化を図る。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		
	民間移管		
	管理主体変更		
	非保有		
	複合化		
民活導入	—		
	—		
個別方針	地域住民の安全を確保する施設として、当面適切な維持管理に努める。		

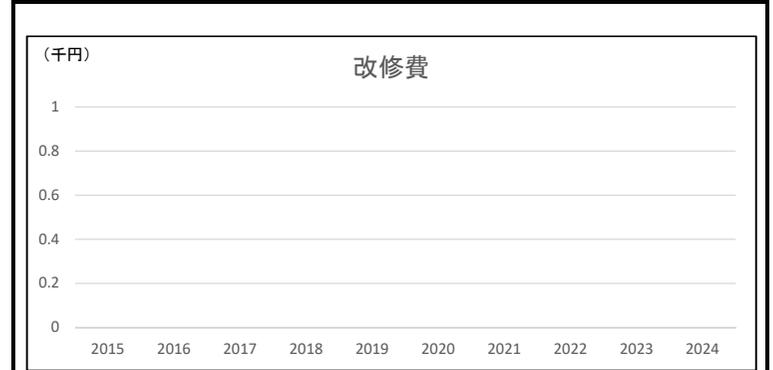
リストNo	24-038	施設コード	01527	
利用用途別分類(施設分類)	ポンプ・排水機場			
施設名	瀬崎雨水貯留池排水ポンプ室			
所在(町名・番地)	浜名区小林927-1			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
主管課	土木部浜名土木整備事務所			
所管課	土木部浜名土木整備事務所			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	大雨時等に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者	なし			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	0.00 m ²	総延床面積	8.41 m ²
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	コンクリートブロック造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正化計画	代表地目(現況地目)		耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
	用途地域	市街化調整区域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1991/3/31
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	34
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※	5m～10m	車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	-
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	-
	避難所		太陽光発電	
		脱炭素	ZEBの種類	

※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	545	414	257
	物件費(光熱水費)	287	261	301
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)		832	675	558
行政コスト(B-A)		832	675	558
収支前年比		123.26	120.97	110.71
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		6	18	18
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	—	—	—	
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	

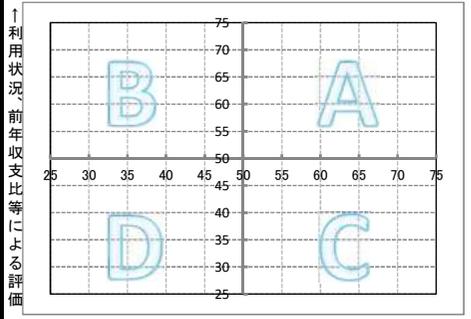
主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)



近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	24-037	小林雨水貯留池排水ポンプ室	—	0.9
	24-040	下善排水機場	—	1.2
その他の分類	15-071	伎倍小学校	生活	0.6
	07-072	伎倍ひまわりクラブ	生活	0.6
	10-014	ふれあい交流センター浜北	地域	0.6
	17-007	美蘭中央公園	地域	0.6
	07-070	第一・第二すみれクラブ	生活	0.6
	15-068	北浜北小学校	生活	0.7
	07-071	第一・第二すずらんクラブ	生活	0.7
	08-049	北浜北幼稚園	生活	0.7

基本情報	リストNo	24-038	施設コード	01527	主管課	土木部浜名土木整備事務所			
	施設名	瀬崎雨水貯留池排水ポンプ室			所管課	土木部浜名土木整備事務所			
施設運営分析	複合施設								
	関連政策名	災害に強く、安全で快適な社会基盤の構築と強化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		大雨時等に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。							
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合に稼働させる。日常的には、保守点検を行い緊急時に備え維持、管理、修繕を行っている。						
		主な利用者	なし						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	近年の台風の強大化や局地的な集中豪雨等の増加により社会的ニーズは高まっている。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	台風による大雨や局地的な集中豪雨は増加傾向にあり、さらに重要となる。							
	特記事項	緊急時に備え施設の維持管理を継続する必要がある。							
主な事業	事業名・開催回数(2024)				年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—			2024	0	0	0	
		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
	事業②	—			2024	0	0	0	
		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
	事業③	—			2024	0	0	0	
		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
事業④	—			2024	0	0	0		
	—			2023	0	0	0		
	—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	98,930	80,262	66,350	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

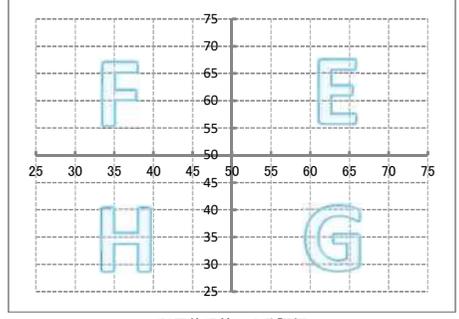
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)



建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)



利用状況等による評価→

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】
E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	今後、台風などの大雨や集中豪雨の増加、土地利用の変化等により浸水被害が予想される。また、施設老朽化が進行しているため、計画的な更新が必要である。
対応策	河川施設全般の長寿化計画を策定し、計画的な更新を実施する。財政面では、更新時期の集中を回避するように平準化を図る。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	複合化		—
	広域化		—

民活導入 —

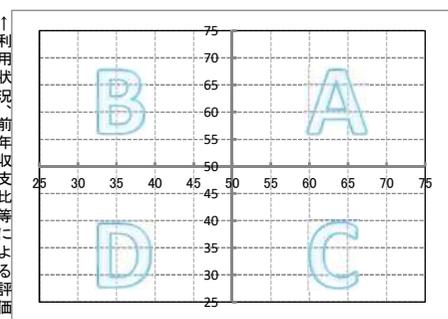
個別方針
地域住民の安全を確保する施設として、当面適切な維持管理に努める。

基本情報	リストNo	24-039	施設コード	02127	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	内野排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	26,926	4,906	33,618	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。		
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		—
	民間移管		—
	管理主体変更		—
	非保有		—
	統廃合		—
民活導入	現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。		
	個別方針		
緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。			

基本情報	リストNo	24-040	施設コード	00365	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	下善排水機場			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	農林水産物の生産性向上						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		農作物への被害を未然に防ぎ農業経営の安定を図るとともに、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨等で浸水被害が予想される場合にポンプを稼働させる。日常的には非常時に備えて設備の保守点検及び修繕を行う。					
		主な利用者	なし					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会ニーズは増加している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		集中豪雨の発生頻度は増加傾向にあり、今後も更に重要な施設となることが予想される。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
事業②		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
事業③		—			2022	—	—	—
		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
事業④		—			2024	0	0	0
		—			2023	0	0	0
		—			2022	—	—	—
	—			2024	0	0	0	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	23,226	19,704	33,973	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

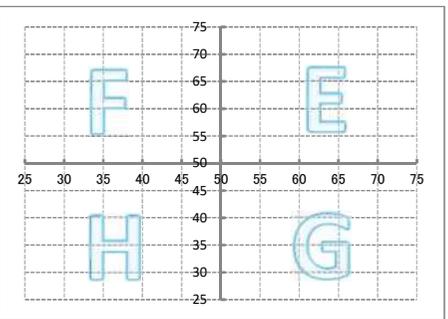
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)



建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)



利用状況等による評価→

【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】
 A: 建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B: 利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C: 建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D: 建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】
 E: 利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F: 財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G: 利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H: 利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	市内に排水機場が33箇所あり、全体的に老朽化が進んでいる。日常点検により発見された不具合について部分補修を行っているが、長寿命化を見据えた全体的な修繕、部品交換、更新等が必要である。
対応策	施設の長寿命化計画を策定することにより更新時期の集中を避けるとともに、維持管理の平準化を図る。順次、県営事業により、長寿命化(機能回復)を図っているところである。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止		
	民間移管		
	管理主体変更		
	非保有		
	統廃合		
	複合化		
	広域化		

民活導入

現在は、地元の農業者等に施設の管理・運転を委嘱している。高齢化等による引き受け手の減少が懸念されるが、当面は継続する。

個別方針

緊急時に稼働する施設として、当面適切な維持管理に努める。